



ワンダーランドの映画作家
Nobuhiko Obayashi
Wonderland
**大林宣彦映画祭
2017**



タイムテーブル		
9月3日(日)	可愛い悪魔 異人たちとの夏	12:55/17:55 10:40/15:45/20:00(終映22:00)
■12:55の回終了後(14:55頃)秋吉久美子さんのトークショー		
9月4日(月)	淀川長治物語・神戸篇 サイナラ 青春デンデケデケデケ	13:20/18:00 10:50/15:30/20:10(終映22:25)
9月5日(火)	廃市 はるか、ノスタルジィ	12:45/17:45 9:40/14:40/19:40(終映22:30)
9月6日(水)	日本殉情伝 おかしなふたり 北京的西瓜	13:15/18:00 10:45/15:30/20:15(終映22:30)
9月7日(木)	麗猫伝説 恋人よ われに帰れ LOVER COMEBACK TO ME ◆	10:45/14:40/18:35 12:40/16:35/20:35(終映22:20)
9月8日(金)	マヌケ先生 理由	12:40/17:15 9:45/14:25/19:50(終映22:30)
■17:15の回終了後(19:00頃)寺島咲さんのトークショー		
9月9日(土)	ねらわれた学園 時をかける少女	10:10/14:05/18:00 12:05/16:00/19:55(終映21:40)
9月10日(日)	あした ふたり	10:45/17:00 13:30/19:45(終映22:15)
■13:30の回終了後(16:10頃)中江有里さんのトークショー		
9月11日(月)	あの、夏の日 ~とんでろ じいちゃん~ 女ざかり	13:05/17:50 10:45/15:30/20:15(終映22:25)
9月12日(火)	姉妹坂 野ゆき山ゆき海べゆきカラー版>	13:20/18:00 10:45/15:25/20:05(終映22:25)
9月13日(水)	彼のオートバイ、彼女の島 天国にいちばん近い島	10:30/14:20/18:10 12:25/16:15/20:50(終映22:30)
■18:10の回終了後(20:00頃)高柳良一さんのトークショー		
9月14日(木)	この空の花 — 長岡花火物語	10:25/13:30/16:35/19:40(終映22:30)
※ラスト1本割引なし		
9月15日(金)	喰べた人 + EMOTION=伝説の午後=いつか見たドラキュラ 瞳の中の訪問者 HOUSE/ハウス	11:35/17:30 13:00/18:55 9:55/15:50/21:00(終映22:30)
■13:00の回終了後(15:00頃)大場久美子さんのトークショー		
9月16日(土)	さびしんぼう 転校生★	12:55/17:20 10:45/15:10/19:35(終映21:30)
9月17日(日)	野のなななのか	9:45/12:50/16:40/19:40(終映22:30)
■12:50の回終了後(15:50頃)常盤貴子さんのトークショー		
※ラスト1本割引なし		

※すべてのトークショーの聞き手は樋口尚文さん(映画監督・映画評論家)
◆「恋人よ～」は上映を目的とした素材ではないため、途中CM該当部分に黒味(無音の黒い画面)が入ります。また、途中で上映素材(ディスク)の入替時間
をいただきますご了承ください。
★=提供:東京国立近代美術館フィルムセンター

大林宣彦監督作品
花 筐
HANAGATAMI
大林宣彦×原作・檀一雄
大林宣彦監督が
『HOUSE/ハウス』(77)
より以前に書き上げられていた
『花筐/HANAGATAMI』。
40年の歳月を経て、
ついに放たれる!!
監督:大林宣彦
窪塚俊介、常盤貴子
©唐津映画製作委員会 / PSC 2017
12月16日(土)
有楽町スバル座他
全国順次公開

9.30(土) All Night
大林宣彦映画祭
2017 アンコール
~ワンダーナイト編~
CONFESSION=
遥かなるあこがれ
ギロチン恋の旅
HOUSE/ハウス
金田一耕助の冒険
少年ケニヤ
開場21:15/開映21:30

Profile
大林宣彦(おおばやし のぶひこ)
1938年1月9日広島県尾道市生
まれ。学生時代から自主映画を撮
り始める。CMディレクターとして活
躍したのち、77年『HOUSE/ハウ
ス』で商業映画デビュー。多彩な
映像表現から「映像の魔術師」と
称されている。代表作に「尾道三
部作」(「転校生」(82年)「時を
かける少女」(83年)「さびしんぼう」
(85年)など。12月16日より最新
作『花筐/HANAGATAMI』が
公開される。



期間中
大林監督最新作
『花筐/HANAGATAMI』
特別予告編(3分)の
上映あり!

可愛い悪魔
異人たちとの夏
淀川長治物語・神戸篇 サイナラ
青春デンデケデケデケ
廃市
はるか、ノスタルジィ
日本殉情伝 おかしなふたり
ものくるほしきひとびとの群
北京的西瓜
麗猫伝説
恋人よ われに帰れ
LOVER COMEBACK TO ME
マヌケ先生
理由
ねらわれた学園
時をかける少女
あした
ふたり
あの、夏の日 ~とんでろ じいちゃん~
女ざかり
姉妹坂
野ゆき山ゆき海べゆき
彼のオートバイ、彼女の島
天国にいちばん近い島
この空の花 — 長岡花火物語
喰べた人
EMOTION=伝説の午後=いつか見たドラキュラ
瞳の中の訪問者
HOUSE/ハウス
さびしんぼう
転校生
野のなななのか
ワンダーランドの映画作家
Nobuhiko Obayashi
Wonderland
**大林宣彦映画祭
2017**

待望の新作
『花筐/HANAGATAMI』
完成記念!

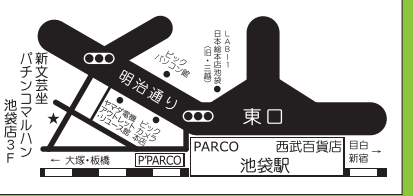


TALK SHOW
9/3(日)
秋吉久美子さん
9/8(金)
寺島咲さん
9/10(日)
中江有里さん
9/13(水)
高柳良一さん
9/15(金)
大場久美子さん
9/17(日)
常盤貴子さん

劇場作品・初期短編テレビドラマ……、映像の魔術師の真髄に迫る**33本!**

2017.9.3(sun)>17(sun)
入場料金[2本立] 一般:1350円/学生:1250円
友の会・シニア:1100円
ラスト1本:900円(友の会・シニア850円)
●1本立ての日は、ラスト1本割引はございません●プリントによっては、映像や音声の
状態が悪い場合があります●上映開始30分以降のご入場は、ご遠慮下さい

新文芸坐
豊島区東池袋1-43-5 マルハン池袋ビル3F
池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422
http://www.shin-bungeiza.com
twitterアカウント:shin_bungeiza



2017.9.3(sun)>17(sun)
新文芸坐
www.shin-bungeiza.com

ワンダーランドの映画作家〜 Nobuhiko Obayashi Wonderland 大林宣彦映画祭 2017



9月6日(水)

日本列伝 おかしなふたり きのくろ風きびのの
1988 / 109分 / 35mmフィルム/カラー/スタンダード



[原] やまさき十三、さだやす圭 [脚] 剣持亘、小倉洋二、藤谷和夫 [撮] 長野重一 [音] KAN [出] 竹内力、三浦友和、永島敏行、南果歩、水島道太郎、原泉、尾美としのり

ひとりの女を中心に、男たちが想いに関わる物語に映画愛を重ね合わせた大林ワールド。大林が「トータルな人間群像としての感情を集約した」と述べた構造は、まさに集大成。<A MOVIE>の結節点となった作品。
©1986 フィルムリンク・インターナショナル

北京的西瓜(ペキんのすいか)
1989 / 135分 / 35mmPSC / カラー / ビスタ



[原] 林小利、久我山通 [脚] 石松愛弘 [撮] 長野重一 [音] 根田哲雄 [出] ベンガル、もたいまさこ、峰岸徹、斎藤晴彦、笹野高史、柄本明、小林聡美、入江若葉、林泰文、天宮良

実話に基づき、八百屋を営む夫婦と中国人留学生たちの交流を描いた佳篇。撮影を予定していた中国ロケが天安門事件のために中止になり、大林は空白の映像による抗議を試みた。キネ旬6位、山路ふみ子映画賞。
©PSC

9月10日(日)

あした
1995 / 141分 / 35mmPSC / カラー / ビスタ



[原] 赤川次郎 [脚] 桂千穂 [撮] 坂本典隆 [音] 學草太郎、岩代太郎 [出] 高橋かおり、林泰文、朱門みず穂、宝生舞、植木等、津島恵子、峰岸徹、根岸季衣、中江有里

遭難事故で命を失った人々から残された家族や恋人にメッセージが届く。大林が「死を認め、愛するとは、生を尊敬し誠実に十分に生き抜くことだ」と語る尾道を舞台にしたファンタジー。主題歌の作詞は原田知世。
©PSC

ふたり
1991 / 150分 / 35mmPSC / カラー / ビスタ



[原] 赤川次郎 [脚] 桂千穂 [撮] 長野重一 [音] 久石譲 [出] 石田ひかり、中嶋朋子、富司純子、岸部一徳、尾美としのり、増田恵子、中江有里、吉行和子、藤田弓子、入江若葉

ドジな妹に伴走し応援する幽霊の姉。少女の成長というテーマと共に、夫婦、親子、様々な「ふたり」の物語である。「原作者の心の願いや想いをこそ映画にするのだ」と語る大林の姿勢が見事に結実した名篇。キネ旬5位。
©PSC

9月14日(木)

この空の花 ― 長岡花火物語
2012 / 160分 / DCP / カラー / ビスタ



[原・脚] 長谷川孝治、大林宣彦 [撮] 加藤雄大 [音] 山下康介 [出] 松雪泰子、高嶋政宏、原田夏希、猪俣真、寺島咲、富司純子、尾美としのり、柄本明、草刈正雄、藤村志保

高校生の演劇、紙芝居、そして長岡花火。「語り継ぐ」ことが生者と死者を繋ぎ、世代を越え、未来の希望を紡いでいく。縦横無尽の映像表現に圧倒されること必至。大林の持論「映画は人と触れ合う芸術」にふさわしく、市民の協力もあり完成された奇跡の1本! 超必見!
©長岡映画製作委員会・PSC

9月15日(金)

【短編】喰べた人
1964 / 23分 / 16mmPSC / 白黒・スタンダード



[共同監督] 藤野一友 [出] 松下砂稚子、石崎仁一、平田穂生、草野大悟、岸田森

大林初の16mm作品。黙々と食べ続ける客。コックがウエイトレスの腹を裂き、包が口から吐き出される。幻想的でシュールな映像には、のちの『HOUSE』の原点が見える。ベルギー国際実験映画祭審査員特別賞。
©PSC

9月3日(日)

可愛い悪魔
1982 / 112分 / 16mm / TV作品 / 円谷プロ・カラー・スタンダード



[脚] 那須真知子 [撮] 長野重一 [音] 木森敏之 [出] 秋吉久美子、ティナ・ジャクソン、渡辺裕之、赤座美代子、佐藤允、岸田森、みなみらんぼう、峰岸徹、秋川リサ、小林亜星

結婚パーティの最中に転落死した姉。妹は義兄の姪・アリスのピアノ教師になるが、次々に惨劇が起こる……。『サスペンスという枠の中で存分に腕をふるった』というホラー描写が衝撃的な大林初のTVムービー。
©円谷プロ

異人たちがの夏
1988 / 109分 / 35mm / 松竹 / カラー / ビスタ



[原] 山田太一 [脚] 市川森一 [撮] 阪本善尚 [音] 篠崎正嗣 [出] 風間杜夫、秋吉久美子、片岡鶴太郎、名取裕子、永島敏行、入江若葉、奥村公延、ベンガル、桂米丸

浅草を訪れた中年の脚本家が死んだ両親に出会う。死を想うことで生を見つめる名篇。「あんたを自慢に思ってるよ」と言いながら静かに消えていく焼き屋の黄昏の感触が忘れ難い。キネ旬3位。毎日映画監督賞。
©1988 松竹株式会社

9月7日(木)

麗猫伝説(れいびょうでんせつ)
1983 / 93分 / 16mm / TV作品 / 円谷プロ・カラー・スタンダード



[脚] 桂千穂 [撮] 阪本善尚 [音] 大林宣彦、三枝成章 [出] 入江たか子、入江若葉、柄本明、風吹ジュン、大泉滉、佐藤允、峰岸徹、平田昭彦、内藤陳、千石規子、伊豆肇、坊屋三郎

瀬戸内の小島にひっそりと暮らす大女優。しかし、その姿は30年前と同じ若さだった……。大林が入江母娘へのリスペクトと映画の愛をこめた一篇。ワンカット10分に及ぶ長台詞をこなしたたか子に感動したという。
©円谷プロ

恋人よ、われは帰れ LOVER COMEBACK TO ME
1983 / 106分 / DVD ◆ / TV作品 / カラー 4:3



[脚] 早坂暁 [撮] 江本隆 [音] 前田憲男、玉木宏樹 [出] 沢田研二、大竹しのぶ、泉谷しげる、小川真由美、トワイ・ドナヒュー、風吹ジュン、財津一郎、小坂一也、待田京介

終戦直後の広島、日米兵のケンには原爆症のケイ子と出会い、愛し合うが……。大林は「原爆のシーンを美しく描くことで、その下で起こった惨劇の恐ろしさを際立たせた」と演出意図を語っている。劇場上映は激レア!
©円谷プロ

9月11日(月)

あの、夏の日 〜とんぞろ じいちゃん〜
1999 / 123分 / 35mmPSC / カラー / スタンダード



[原] 山中恒 [脚] 大林宣彦、石森史郎 [撮] 坂本典隆 [音] 學草太郎、山下康介 [出] 小林桂樹、厚木拓郎、勝野雅奈恵、宮崎あおい、入江若葉、ミックキー・カーチス、根岸季衣

小学生の由太は、おじいちゃんがボケたので見張り役として尾道に行く。(←こそ観るべき映画かも) 権力に抗する弓子や周囲の人間模様を、大林はスーパー16ミリカメラで1000カットにも及ぶ登場人物が尾道弁を口にする!
©1994 松竹株式会社

女ざかり
1994 / 118分 / 35mm / 松竹 / カラー / ビスタ



[原] 丸谷オー [脚] 大林宣彦、野上龍雄、渡辺善則 [撮] 坂本典隆 [音] 久石譲 [出] 吉永小百合、津川雅彦、三國連太郎、藤谷美紀、岸部一徳、風間杜夫、月見夢路、穴戸錠

弓子が初めて書いた社説に対し、政権と党から圧力がかかる。(←こそ観るべき映画かも) 権力に抗する弓子や周囲の人間模様を、大林はスーパー16ミリカメラで1000カットにも及ぶ前代未聞の饒舌な画面で描いた。
©1994 松竹株式会社

【短編】EMOTION―伝説の午後―いつが見たドラキュラ
1967 / 38分 / 16mmPSC / カラー・スタンダード



[脚] 羽生杏子 [撮] 小谷映一 [音] 宮崎尚志、出原みやこ [出] 石崎仁一、田端エミ、赤坂サリ、喜多村寿信

学園祭などで(全国の大学の3/5で上映されたという)カルトな人気を集めた自主映画時代の代表作。あらゆる映像テクニックを駆使し、吸血鬼、西部劇など古今の映画へのオマージュと、青春の挽歌を奏する。
©PSC

瞳の中の訪問者
1977 / 100分 / 35mm / 東宝 / カラー / スタンダード



[原] 手塚治虫 [脚] ジェームス三木 [撮] 阪本善尚 [音] 宮崎尚志 [出] 片平なぎさ、穴戸錠、山本伸吾、志穂美悦子、峰岸徹、和田浩治、ハニー・レーヌ、長門裕之、檀ふみ、藤田敏八

角膜移植手術を受けた少女・千晶の眼に見知らぬ男の姿が映る。「ブラックジャック」の一篇「春一番」が原作。「自分の好きな映画を好きなように撮ってみる」と語る大林の「個人返り」作品。ヒョータンツギも登場!
©1977 TOHO CO.,LTD

9月4日(月)

淀川長治物語・神戸篇 サイナラ
2000 / 106分 / 35mmPSC / カラー / スタンダード



[脚] 市川森一 [撮] 稲垣湧三 [音] 學草太郎、山下康介 [出] 秋吉久美子、柄本明、ガダルカナル・タカ、厚木拓郎、勝野雅奈恵、白石加代子、岸部一徳、根岸季衣、宮崎あおい

神戸に生まれ、幼い頃から「活動写真」に魅せられた少年・淀川長治。道に進むなど苦難にめげず、映画の家に没頭するため上京する。積み重ねられた映画への思いが生を突き動かす様は大林自身の青春とシンクする。
©PSC

青春デンデケデケデケ
1992 / 135分 / 35mmPSC / カラー / ビスタ



[原] 芦原すなお [脚] 石森史郎 [撮] 萩原憲治、岩松茂 [音] 久石譲 [出] 林泰文、大森嘉之、浅野忠信、永堀剛敏、佐藤真一郎、柴山智加、根岸季衣、岸部一徳、入江若葉

ベンチャーズの電気的天啓を受けた5人の少年たち。真っ直ぐな想いと友情、世界の広がりについて高揚感の何と膨大なことか! 大林も「これは懐かし印の映画ではない。元気印の映画である!」と語っている。キネ旬2位。必見!
©PSC

9月8日(金)

マヌケ先生
1998 / 89分 / 35mmPSC / カラー / ビスタ



[総監督・原・脚] 大林宣彦 [監・脚] 内藤忠司 [脚] 冠木新市 [撮] 今関あきよし [出] 三浦友和、厚木拓郎、竹内力、南野陽子、丹波哲郎、入江若葉、谷啓、風吹ジュン、峰岸徹

映画監督・馬場は故郷の尾道に向かう列車の中で不思議な紳士に出会い、いつしか幼い頃の記憶の旅に入っていく。「マヌケ先生」とは大林が7歳の時に素通しのフィルムに1コマずつ描きこんだキャラクターだという。
©PSC

理由
2004 / 160分 / 35mm / アスミック・エース / カラー / ビスタ



[原] 宮部みゆき [脚] 大林宣彦、石森史郎 [撮] 加藤雄大 [音] 山下康介、學草太郎 [出] 村田雄浩、寺島咲、岸部一徳、風吹ジュン、柄本明、加瀬亮、伊藤歩、宮崎あおい

高層マンションの一室で起こった殺人事件。周囲の証言で謎を解明していく構成に直木賞受賞の原作者・宮部も脱帽したという。100人以上に及ぶ膨大なキャストをノー・メイクで登場させる手法が斬新。キネ旬6位。必見!
©2004 WOVOW / PSC

9月12日(火)

姉妹坂
1985 / 102分 / 35mm / 東宝 / カラー / ビスタ



[原] 大山和栄 [脚] 関本都夫、桂木薫 [撮] 宝田武久 [音] 宮崎尚志 [出] 沢口靖子、紺野美沙子、浅野温子、富田靖子、尾美としのり、宮川一朗太、佐藤允、峰岸徹、宇野重吉

京都を舞台にした四姉妹の物語。大林は現代版「細雪」を撮るにあたって、一人の娘の中にある4つの感情を4人の女優に分け、2人の青年が一人の心模様であるという構想を考へ、「残酷なまじ絵」を忍ばせたと語る。
©1985 TOHO CO.,LTD

野崎き山ゆき海へゆき<カラー版>
1986 / 136分 / 35mm / 東宝 / カラー / ビスタ



[原] 佐藤春夫 [脚] 山田信夫 [撮] 阪本善尚 [音] 大林宣彦 [出] 鷺見いさ子、林泰文、片岡順一郎、尾美としのり、峰岸徹、佐藤允、佐藤浩志、竹内力、入江若葉、三浦友和

戦争の影が覆い始めた時代。瀬戸内の島で「わんぱく戦争」を繰り広げる少年たち、年上の少女への憧れ。尾道三部作が抒情詩であるのに対し「昭和の叙事詩の世界を作ろう」と大林が意図を語った郷愁に満ちた1本。
©1986 TOHO CO.,LTD

9月5日(火)

廃市
1984 / 104分 / 16mmPSC / カラー / スタンダード



[原] 福永武彦 [脚] 内藤誠、桂千穂 [撮] 阪本善尚 [音] 大林宣彦、宮崎尚志 [出] 小林聡美、山下規介、根岸季衣、入江若葉、峰岸徹、尾美としのり、入江たか子、林成年

運河が走る柳川を舞台に「死にゆく町」で過されたひとりの夏の追憶。大林が中・高時代に傾倒したという福永文学への個人的な想いから、あえて16ミリで撮影、緩やかに朽ちていく時間を静謐な映像で紡いだ。キネ旬9位。
©PSC

はるか、ノスタルジィ
1993 / 165分 / 35mmPSC / カラー / ビスタ



[原] 山中恒 [脚] 大林宣彦 [撮] 阪本善尚 [音] 久石譲 [出] 石田ひかり、勝野洋、松田洋治、尾美としのり、ベンガル、根岸季衣、川谷拓三、永島咲子、岸部一徳、増田恵子

少女小説の作家・慎介は故郷の小樽を訪れる。ファンダという少女・はるかとの邂逅は、慎介に初恋、少年時代の悔恨と痛みを蘇らせる。そして、二人の前に現れた不思議な少年は、小樽の風景がこの上なく美しい。
©PSC

9月9日(土)

ねらわれた学園
1981 / 90分 / DCP / KADOKAWA / カラー / ビスタ



[原] 肩村卓 [脚] 葉村彰子 [撮] 阪本善尚 [音] 松任谷正隆 [出] 薬師丸ひろ子、高柳良一、峰岸徹、手塚真、長谷川真砂美、三浦浩一、岡田裕介、山本耕一、赤座美代子、ハナ肇

自分に不思議な力があると知った由香が悪に挑む学園SF。特殊効果を駆使してラストの超能力対決が見もの。(峰岸怪演!) 角川プロデューサーの要望に応え、「唯一、戦略的にアイドル映画として撮った」と語っている。
©1981 KADOKAWA

時をかける少女
1983 / 105分 / DCP / KADOKAWA / カラー / ビスタ



[原] 筒井康隆 [脚] 剣持亘 [撮] 阪本善尚 [音] 松任谷正隆 [出] 原田知世、高柳良一、尾美としのり、津田ゆかり、岸部一徳、入江たか子、上原謙、根岸季衣、内藤誠、高林陽一

放課後の理科室でラベンダーの香りをかいた和子は時間を超えるようになる。以後、何作もリメイクが作られる原作と尾道が幸福な邂逅を果たした名作。失われた時間と青春への哀惜をこめた切ないラストが余韻を残す。
©1983 KADOKAWA

9月13日(水)

彼のオートバイ、彼女の島
1986 / 90分 / 35mm / KADOKAWA / カラー / ビスタ



[原] 片岡義男 [脚] 関本都夫 [撮] 阪本善尚 [音] 宮崎尚志 [出] 原田貴和子、竹内力、渡辺典子、三浦友和、田村高廣、高柳良一、峰岸徹、泉谷しげる、根岸季衣、尾崎紀彦

旅の途上で出逢った巧と美代子。バイクという素材に大林は「フロンティア・スピリットに溢れたハリウッドB級映画の心意気」と語り、竹内、原田という新人を配し、青春の疾走感と危うさをフィルムに焼きつけた。
©1986 KADOKAWA

天国にいちばん近い島
1984 / 102分 / 35mm / KADOKAWA / カラー / ビスタ



[原] 森村桂 [脚] 大林宣彦、剣持亘、小倉洋二 [撮] 阪本善尚 [音] 朝川朋之 [出] 原田知世、高柳良一、峰岸徹、泉谷しげる、乙羽信子、高橋幸宏、小林稔侍、松尾嘉代

亡き父が話してくれた「天国にいちばん近い島」を探しにツアーに参加した高校生の万里。現地では出会った青年や戦争未亡人との交流を通して成長していく。全編ロケによるニュー・カレドニアの美しい自然も見どころ。
©1984 KADOKAWA